

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 28 日現在

機関番号 : 22302

研究種目 : 若手研究 B

研究期間 : H20 ~ H23

課題番号 : 20720243

研究課題名 (和文) 異性装の特殊性と普遍性 : インドのヒジュラとカナダのベルダーシュに関する調査研究

研究課題名 (英文) Comparative studies of trans-gender and trans-vesting

研究代表者 國弘 暁子 (Kunihiro Akiko)

群馬県立女子大学・文学部総合教養学科・専任講師

研究者番号 : 20434392

研究分野 : 文化人類学

科研費の分科・細目 : 若手研究 B

キーワード : 異性装、現世放棄、模倣、ジェンダー、記号

1. 研究計画の概要

本研究は、インドにおいて両性具有者のイメージを付与されることの多い「ヒジュラ」とカナダのファースト・ネーション(先住民)の中で発見された「ベルダーシュ(Man - Woman と表現される)」を考察の対象に据えて、性と装いの境界を超える異性装の特殊性と普遍性について、文献研究と海外調査の二側面から考察することを目的とする。

2. 研究の進捗状況

日本国内での文献研究を継続させながら、海外調査を毎年実施している。初年度はインド、次年度はカナダ、そして昨年度はインドで現地調査を実施した。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している：理由) 異性装の比較研究をするにあたり、特異な衣装を纏う反復行為がもつ文化的意味の探求を切り口としたが、カナダのベルダーシュに関しては、衣装を纏うという行為の重要性よりも、自らの先住民性の主張との先住民の世界観を回復させる儀礼の反復がより切実な課題であることが明らかとなった。かつて先住民を支配していた西洋人によってベルダーシュと名付けられた人々は、今日のカナダ社会において「セクシュアル・マイノリティ」の中の「先住民」という二重に差異化された状態にあり、それ故に、どちらの社会運動においても中心となれず、曖昧な状況に置き去りにされている。言い換えれば、ベルダーシュは、異なるものを分節/整理/排除していく社会の仕組みの弊害を直に被っており、周辺のさらに周縁に追いやられている。その問題を自ら打開するために、彼らは政府の保護下

に置かれる道を選ばず、独自のやり方によって、かつて先住民社会に息づいていた世界観全体を回復するための儀礼活動を地道に行い、その活動と共に、先住民世界でのベルダーシュの存在意義を唱えている。

それに対して、インドのヒジュラの場合、都市と村落とでの違いはあるものの、乞食遊行と同様な扱いを受け、未知なる神の領域に属す存在として人々からの歓待を受ける。インドとカナダ先住民社会は、ほぼ同時期に英国の植民地支配を受けており、西洋からの部外者によってヒジュラとベルダーシュはどちらも性的逸脱者と名指しされてきた。さらに、今日では「第三のジェンダー」との切り取りもなされているが、しかし、両者を取り巻く今日的状況は大きく異なり、とりわけインド社会におけるヒジュラの場合はジェンダーの問題に還元し得ない現世放棄の制度によって周縁へと排除されることを免れているといえる。

4. 今後の研究の推進方策

最終年度は、インドにおける現世放棄という制度そのものを考察の対象とし、文献研究と現地調査の二側面から実施する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 3 件)

①2011 年「生を委ね合う共同生活のあり方: インド、グジャラート州における現世放棄者ヒジュラの事例から」『群馬県立女子大学紀要』pp.57-65(査読無)

②2010 年「都市生活者の女神信仰と異人歓待

のあり方—インド、グジャラート州の都市アフメダバードにおけるヒジュラの活動を中心に—」、科学研究費基盤研究A(海外学術)報告書『トランスナショナリズムと「ストリート」現象の人類学的研究』pp.106-125(査読有)

③2009年『「ストリート」を経験する—ヒンドゥー女神バフチャラー信仰とヒジュラ』関根康正(編)『ストリートの人類学』上巻、国立民族学博物館調査報告、80号、pp.289-312(査読有)

〔学会発表〕(計3件)

①2011年「マスキュリティと現世放棄:去勢儀礼を通過した現世放棄者たちのジェンダーに関する考察」NIHUプログラム「現代インド地域研究」主催平成22年度現代インド・南アジア次世代研究者合宿、2011年3月19日~21日

②2009年「異装を纏う人々への歓待の作法:インド、グジャラート州におけるヒジュラとしてのあり方を中心に」『京都人類学研究会7月季節例会:歓待の人類学』、京都大学・稲盛財団記念館、2009年7月17日

③2009年「去勢した者たちの情交のあり方—インド、グジャラート州のヒジュラの事例から」『日本文化人類学会第43回大会』、大阪国際交流センター2009年5月30日

〔図書〕(計4件)

①2011年「コラム:インドの『ヒジュラ』—セクシュアル・マイノリティとしての歴史」服藤早苗、三成美保(共編)『ジェンダー史叢書第1巻 権力と身体』明石書店(pp.88-91)

②2010年「インドにおけるヒジュラと私のフィールドワーク:『独り』の私から、『二重』の私を感得する」椎野若菜(編)『「シングル」で生きる:人類学のフィールドから』、東京:御茶の水書房(pp.51-63)

③2009年「ヒジュラとセックス—去勢した者たちの情交のあり方」奥野克己、椎野若菜、竹ノ下祐二(共編)『シリーズ 来るべき人類学:セックスの

人類学』横浜:春風社(pp.169-196)

④2009年『ヒンドゥー女神の帰依者ヒジュラ:宗教・ジェンダー境界域の人類学』風響社(総頁数258)

〔産業財産権〕
○出願状況(計0件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

○取得状況(計0件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

〔その他〕